

I 調査研究
結果

I-1 調査研究
概要

I-2 アンケート
調査

A 事例

B 体制

I-3 ヒアリング
調査

I-4 調査研究
総括・提言

II 実践事例集

資料

資料

令和元年度全国主任児童委員研修会分散会事前アンケート

1. 「児童委員方策 2017」では、次の4つの重点活動項目を示しています。現在、民児協やご自身が行っている活動のなかから2点を取り上げ、具体的な内容を別紙事例(1)・事例(2)にそれぞれ記入ください。

児童委員方策 2017 の重点と活動内容例

重点①子どもたちの「身近なおとな」となり、地域の「子育て応援団」となる

⇒日頃から学校行事等への参加などを通して、地域の子どもの「身近なおとな」となれるような関係づくりを進める。また、自らが「地域の子育て応援団」となり、子育て中の親を支える。

(例) 登下校時の見守りや声かけ運動、子育てサロンの開催、「こんにちは赤ちゃん事業」実施協力など

重点②子育て、子育てを応援する地域づくりを進める

⇒委員一人ひとりが「子育て応援団」となり、地域住民に呼びかけ、子育て、子育てを応援する地域づくりを推進すること。

(例) 住民同士が声をかけあう「一声運動」「挨拶運動」、「安全マップ」の作成を通じた子どもの安全を見守る活動、「子ども食堂」への実施協力など

重点③課題を抱える親子を早期に発見し、つなぎ、支える

⇒地域の子育て家庭と日頃から積極的に関わり、課題を抱えている親子に対して適切な支援につなぐとともに、学校や関係機関・団体との役割分担のもとに、自らも身近な相談相手として寄り添うこと。

(例) 「こんにちは赤ちゃん事業」や健診未受診家庭への訪問等、課題を抱えた親子の早期発見、児童養護施設等との連携による施設から家庭に戻った子どもの見守り、不登校児童への支援など

重点④児童委員制度やその活動への理解を促進する

⇒地域住民や学校関係者等との継続的な関わりをもつことで、児童委員の役割や活動に対する認知や理解を進める。

(例) 「民生委員・児童委員の日」、児童福祉週間等の取り組みを通じた、児童委員、主任児童委員の役割や活動の周知、小中学校の授業や体験活動などに参加することによる理解促進、など

※7月8日(月)までに、郵送または Email にてご提出ください。

【全国民生委員児童委員連合会事務局 全国主任児童委員研修会係宛】

〒100-8980 千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル z-minsei@shakyo.or.jp

令和元年度全国主任児童委員研修会分散会事前アンケート

【別紙】事例（1）

①活動名称	
②児童委員方策の重点	1 2 3 4 (該当する番号に○をつけてください)
③活動開始年	
④活動のきっかけ	
⑤主な活動内容	
⑥民児協、児童委員、主任児童委員の役割	
⑦連携している機関・団体	
⑧活動の効果と今後の課題	

I
調査研究
結果

I-1
調査研究
概要

I-2
アンケート
調査

A
事例

B
体制

I-3
ヒアリング
調査

I-4
調査研究
総括・提言

II
実践事例集

資料

令和元年度全国主任児童委員研修会分散会事前アンケート

【別紙】事例（2）

①活動名称	
②児童委員方策の重点	1 2 3 4 (該当する番号に○をつけてください)
③活動開始年	
④活動のきっかけ	
⑤主な活動内容	
⑥民児協、児童委員、主任児童委員の役割	
⑦連携している機関・団体	
⑧活動の効果と今後の課題	

令和元年度全国主任児童委員研修会分散会事前アンケート

2. 活動を行ううえで、問題になっていることがあれば記入ください。単位民児協会長の方は、児童委員協議会としての運営に関して課題と感じていることを記入ください。

I
調査研究
結果

I-1
調査研究
概要

I-2
アンケート
調査

A
事例

B
体制

I-3
ヒアリング
調査

I-4
調査研究
総括・提言

II
実践事例集

資料

2 B : 児童委員活動等の体制に関するアンケート調査票

令和元年 7 月 31 日

児童委員活動等の状況に関するアンケート調査へのご協力をお願い

全国民生委員児童委員連合会

全国民生委員児童委員連合会では、本年度、厚生労働省の助成（2019年度子ども・子育て支援推進調査研究事業）を受けて、「地域における児童委員・主任児童委員の活動等の現状と課題に関する調査」事業を実施することとなりました。

本事業では、児童虐待の深刻化や地域における子育てをめぐる課題が広がるなかで、民生委員・児童委員、主任児童委員を取り巻く状況や活動上の状況、先駆的な事例を把握し、その検証を通して地域の児童委員活動が行いやすい環境整備を図ることを目的に、実践事例集の作成や提言をまとめるものです。

本事業の実施にあたっては、本研修会に参加されている委員の皆さまから事前にご提出いただいたアンケート調査とともに、活動状況に関するアンケート調査を行い、本事業に有効に活用させていただきたいと考えています。

つきましては、本事業の趣旨についてご理解賜り、ぜひとも本アンケートへの記入にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、いただいた回答は集計にのみ活用いたしますので、個別のデータを開示することはありません。事業終了後、本会において責任をもって破棄いたします。

また、本アンケートでご提供された内容をもとに、ヒアリングなどへのご協力をお願いすることがありますので、ご承知おきください。

【アンケートの記入にあたりご協力いただきたいこと】

- ▼以下のアンケートにご記入ください。選択肢のある回答は、該当する回答の数字を○で囲んでください。
- ▼すべての質問にご回答ください。なお、(1)(2)については、記入しなくてもかまいませんが、できるだけ記入くださいますようお願いいたします。
- ▼回答したアンケート用紙は封筒に入れて、本研修中に配置する所定の回収箱に入れていただくか、本会職員に直接お渡しください。
- ▼できるだけ、本研修会終了時までにご記入して、ご提出ください。本研修会中にご回答が難しい場合は、8月9日までに郵送してください。(本会職員に申し出いただければ、郵送用の切手をお渡しいたします。)

本アンケート調査に関する問い合わせ先

全国社会福祉協議会 民生部（全民児連事務局）

(Tel. 03-3581-6747 fax 03-3581-6748 eメール z-minsei@shakyo.or.jp)

(1) あなたが所属している民生委員児童委員協議会（以下、「民児協」）についてお教えてください。（※無記入でもかまいませんが、できるだけ記入をお願いします。）

都 道 府 県	市 町 村
所属している民児協の名称	

(2) あなたご自身についてお教えてください。

（※無記入でもかまいませんが、できるだけ記入をお願いします。）

お名前	年齢	歳
参加者名簿のあなたの名前の横にある番号 を記入してください。 【 】		

(3) あなたご自身について当てはまるものをすべて記入してください。

1. 主任民生委員	3. 単位民児協会長
2. 地区担当委員	4. いずれにもあてはまらない

(4) あなたが所属している民児協に、児童福祉関係部会は設置されていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(5) 民児協の定例会において、主任児童委員が活動報告をする場（機会）はありますか。

1. 毎回の定例会にある
2. 毎回ではないが、定期的にある（4半期に一度など、等）
3. 必要に応じてある
4. ない

3 インタビューガイド

地域における児童委員・主任児童委員の 活動等の現状と課題に関する調査研究事業 インタビューガイド

1 インタビューの目的

- 標記調査研究事業においては、民生委員・児童委員、主任児童委員を取り巻く状況や活動上の課題を探るため、アンケートおよびヒアリング調査を実施し、その検証を通じて地域の児童福祉の担い手として、活動しやすい環境整備を図っていくことを目的に取り組んでおります。
- 調査結果を基に、民生委員・児童委員、主任児童委員活動の充実・強化や、関係機関、住民への民生委員・児童委員活動の周知が図られる実践事例集を作成します。
- 実践事例集は、「全国児童委員活動強化推進方策 2017」の活動の4つの重点に基づき、単位民児協組織で取り組んでいる活動であること、地区担当民生委員・児童委員と主任児童委員が連携して行っている活動を事例として掲載する予定です。
- インタビューは、本調査研究事業の成果物の一部となる「実践事例集」（仮称）に掲載する事例収集のために実施します。
- 「実践事例集」（仮称）は、取り組みの概要・効果、活動推進上のポイントなどの内容について、他の民生委員・児童委員、主任児童委員活動の参考になるように、読みやすい形式で編集・掲載する予定です。

2 今回のインタビューの概要

- 対応者： ○○○○ ○○○○氏
○○○○ ○○○○氏
- 日 時： 令和○年○月○日（○）○：○～○：○
- 場 所： ○○○○
- 方 法： 以下、実施者が訪問し、聞き取りを実施
- 実施者： ○○○○ ○○○○氏
全国社会福祉協議会 民生部部員 ○○○○ ○○○○氏
コモン計画研究所 ○○○○（本調査研究事業の委託先）

3 インタビューの内容

〔別紙〕質問内容をご参照ください。

4 インタビューにあたっての留意事項

- インタビューは、記録のため録音をさせていただきます。記録した音声データは、研究終了後、廃棄いたします。
- インタビュー内容は、本調査研究事業の成果物において「実践事例集」（仮称）として掲載し、公表されます。
- 後日、お電話等にて追加の聞き取り、内容の確認・ご相談をお願いする場合があります。

▼ご不明な点につきましては、以下にお問い合わせください。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 事務局
100-8980 東京都千代田区霞が関 3-2-2 新霞が関ビル
TEL03-3581-6747 FAX03-3581-6748
z-minsei@shakyo.or.jp

ヒアリング調査当日の流れ・質問内容について

(別紙)

1. 当日の流れ (打ち合わせ含め2時間程度)

- 事前打ち合わせ (時間配分、進め方など) (10分程度)
- インタビュー開始 (約90分)
- 今後の流れについて (5分程度)、インタビュー終了

2. 質問内容について

①活動の特徴とポイント (きっかけ、立ち上げ背景含む)
②運営体制 ・活動の主体 (民児協/共同組織立ち上げ (NPO や〇〇運営委員会など/他団体に協力/その他) ・民児協が主体→予算・人員体制など
③活動の効果と継続のための課題、今後の展望
(民児協の組織体制に関する質問④・⑤・⑥)
④主任児童委員・区域担当児童委員との連携状況と課題
⑤主任児童委員へのバックアップ体制 ・活動支援 ・定例会でのサポート ・研修の充実
⑥民児協における子ども・子育て課題への取り組み
⑦関係機関との連携状況 ・⑥で挙げた取り組みでの連携先 ・その他、日頃の活動での連携先
⑧児童委員・主任児童委員活動に対する理解促進の取り組みと、活動への影響・評価 ・行事への参加や広報活動による児童委員・主任児童委員活動の周知
⑨その他 ・主任児童委員指名の年齢制限 ・委員相互の意識啓発に向けた取り組み ・委員の就業状況

4 委員名簿と検討の経過

【調査研究委員会 委員】

敬称略 ◎ = 委員長

庄司 健治	全国民生委員児童委員連合会前副会長・児童委員活動推進部会前部会長 [仙台市]
池永 彰美	全国民生委員児童委員連合会副会長・児童委員活動推進部会前副部会長 [高知県]
市川 淳子	全国民生委員児童委員連合会 児童委員活動推進部会委員、主任児童委員[岩手県]
小宮 謙治	東京都足立区主任児童委員 [東京都]
◎松原 康雄	明治学院大学学長
泉谷 朋子	東洋大学助教
廣瀬 みどり	社会福祉法人みおつくし福祉会リアン東さくら施設長

※所属・肩書きは令和2年3月31日現在

【検討の経過】

開催		主要な検討内容
準備委員会	日時：令和元年7月3日（水） 10時00分～12時00分 会場：全国社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査研究事業の検討内容および進め方について ● 調査研究委員会委員について ● 追加アンケート調査項目について
第1回委員会	日時：令和元年9月26日（木） 15時30分～17時10分 会場：全日通霞が関ビル7階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査研究事業の進め方について ● 児童委員活動等の状況に関するアンケート調査結果について（中間） ● ヒアリング調査について
第2回委員会	日時：令和元年12月12日（木） 16時00分～18時00分 会場：商工会館8階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告書の柱だてについて ● 児童委員活動等の状況に関するアンケート調査結果について ● ヒアリング調査の実施状況ならびにまとめ方について ● 実践事例集のまとめ方について
作業委員会	日時：令和2年2月3日（月） 16時00分～18時00分 会場：TKP品川カンファレンスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ● 進捗状況の共有 ● 第3回調査研究委員会の進め方 ● その他
第3回委員会	日時：令和2年2月26日（水） 13時00分～15時30分 会場：商工会館8階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告書（案）について ● 実践事例集について